

受賞者紹介 (※敬称略)

◎グランプリ

森 士恵陽
(牛根小 5年)

◎最優秀賞

岩元 瑛寛
(柘原小 3年)

山崎 斐彩
(水之上小 4年)

川原 聡太
(垂水小 5年)

岩元 泉花
(協和小 1年)

◎優秀賞

安居 颯太
(垂水小 3年)

瀬脇 大翔
(協和小 2年)

中村 奏太
(垂水小 2年)

白窪 結依
(垂水中央中 2年)

隈元 一護
(新城小 2年)

藤山 明かり
(垂水中央中 2年)

川畑 稟香子
(垂水中央中 3年)

◎推薦

山元 悠生
(垂水小 6年)

上原 結愛
(水之上小 1年)

緒方 華恋
(水之上小 5年)

一松 凜
(新城小 3年)

瀬脇 杏心
(協和小 6年)

安部 沙弥香
(垂水小 4年)

脇 遥音
(松ヶ崎小 6年)

◎学校賞

牛根小学校

※学年は3月時点です。

各学校ごとに受賞者をご紹介



▲岩元瑛寛さん



▲瀬脇大翔さん、瀬脇杏心さん、岩元泉花さん



▲中村奏太さん、山元悠生さん、川原聡太さん、安部沙弥香さん、安居颯太さん



▲一松凜さん、隈元一護さん



▲緒方華恋さん、山崎斐彩さん、上原結愛さん



▲脇遥音さん

■坂元裕人教育長からのコメント

自分と向き合いながら一生懸命に考え、作文を書き、入賞された皆さん、本当におめでとうございます。学校賞を受賞された牛根小学校の皆さん、おめでとうございます。来年も是非、多くの小中学生に『若草文学賞』へチャレンジしてほしいと願っております。子どもたちにとってこのような貴重な素晴らしい機会を与えてくださった西尾会長を始め、垂水文化協会の皆様方に心から感謝申し上げます。



▲川畑稟香子さん、白窪結依さん、藤山明かりさん

『私のおじいちゃん、おばあちゃん』への思いをのせて
第23回若草文学賞

1月17日、垂水市文化協会主催の第23回若草文学賞の審査会が開催され、牛根小学校5年生の森士恵陽さんがグランプリを受賞しました。若草文学賞は、垂水市文化協会が、豊かな感性や情緒を育み、思考力と表現力の向上を目的に市内の小中学生から募集しているものです。今年度は「私のおじいちゃん、おばあちゃん」をテーマに小学生61点、中学生10点、合計71点が出品され、グランプリ1名、最優秀賞4名、優秀賞7名、推薦7名、学校賞1校が選出されました。2月25日に垂水市市民館での授賞式を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、2月16日に各学校で行われました。グランプリを受賞した森さんは「ぼくは、いつもおじいちゃんとおばあちゃんにお世話になっています。この作文を書いて、もっとおじいちゃんやおばあちゃんと仲良くしたいと思いました。グランプリをいただいてうれしかったです」と受賞を喜んでいました。同協会の西尾佐代子会長は「『作文は種まきから』とよく言われています。どの応募作品も、テーマに沿って書き上げられた素晴らしい作文でした。若草文学賞をきっかけに、作文が好きな児童・生徒が増えることを期待しています」と話しました。今回受賞された皆さん、本当におめでとうございます。



▲牛根小学校の児童と有馬博志校長で記念撮影



▲牛根小学校で行われた授与式の様子



▲グランプリに輝いた森士恵陽さん



▲学校賞を授与され、笑顔いっぱいの児童たち